

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ②

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- いつコロナウイルスに感染するか不安な状況の中、会社発足後初めて赤字計上となるも仕事量は変わらず「安全・安定輸送」「収入確保」に取り組んできた結果が2.2ヶ月の回答は「変革2027」にある社員と家族の幸せとかけ離れている！
- 「現在の業績を踏まえると厳しい判断」というが、業績が良かったときも低かった！社員に期待するには低すぎる。
- 夏季手当に続く低額回答に怒りを感じずにはられません。会社は「変革」やら「チャレンジ」などというが、この回答内容ではモチベーションなんて上がるはずがない！コロナウイルスの影響でかえって作業は増えている。社員の苦労・努力に向き合わない会社に未来はない！
- 年末手当2.2ヶ月では、この先の生活が不安だ。食費や生活費など切り詰めるものは切り詰め、その分、勤労意欲は失せます。要求満額出せる体力はある！そう言っていた会社の回答には失意しかありません。この先、会社のために頑張ろうと思えなくなりました。
- 回答書が貼り出されてガッカリした。満額回答できる体力があったのでは？「出るだけ良かった、会社すごい」とか言っている人は、たぶん成績率が加算されているんだろうな。
- 会社として初めての赤字であることはもちろんわかっている。だが、今回の年末手当の数字を見れば、下げるための手段としての数字としか見えない。やる気、モチベーションを求めるには程遠い数字である。夏より低い年末手当。「これで頑張ってください」と言われても、その気になれない！
- 回答を見て、モチベーションがさらに下がりました。要求との解離もありますが、そういった単純なものではなく、自分たちの頑張りに対する評価は「こんなものなのか」と感じてしまいました。他の社員も言っていますが、コロナ禍でも以前と変わらず仕事はあります。そういう状況であるのに、回答書を読んでいると「もっと頑張れ」と会社が言っているように感じてしまい「頑張れるかよ」と言いたくなりました。こちらは、我慢して苦労して仕事をしているのに「もっと頑張れ」は、ないのではないかと感じます。